

『財津塾』カリキュラム そもそも論と修理工数表

事故車修理業として真のあるべき姿のために！

社会的責任履行のための事故車見積り作成講座

我々事故車修理業界にこれまで自分たちの売値を決めるための作業工数表が存在してなかったため、業界が損害保険会社の支払保険金算定基準を採用し慣例化していることで自分たちの売値を自分たちが決めることが出来ずに長年(40数余年)にわたり、社会的責任を真面目に義務として果たそうとする心ある工場ほど社会的責任が履行できない状態に置かれています。

その為にも自分たちの売値は自分たちで決めると云う事を、信義則と公序良俗の基本理念の基、正しい考え方を学び理念と誇りを持ってと行動し公正公明な修理費の算定が真の社会貢献となると信じてます、またそのような人こそが求められております。

『財津塾』ではそのような人を育てることを使命としております。
是非一緒に学び正しい行動ができるような人間になりましょう！

講義目次 I ~ III 講

2泊3日 3回講義(月1回)

第 I 講1日目	13~17時	そもそも論基礎①
第 I 講2日目	10~12時	そもそも論基礎②
第 I 講2日目	13~17時	そもそも論基礎③
第 I 講3日目	10~12時	工数表と使用方法
第 I 講3日目	13~16時	塗装工数表と実技

第 III 講1日目	13~17時	そもそも論 再講習
第 III 講2日目	10~12時	工数表概念と在き姿
第 III 講2日目	13~17時	板金塗装工数表実技
第 III 講3日目	10~12時	板金塗装業あるべき姿
第 III 講3日目	13~17時	社会の公器として生る

第 II 講1日目	13~17時	板金塗装工数表概念
第 II 講2日目	10~12時	鈹金工数実技・講義
第 II 講2日目	13~17時	工数表を使用実技指
第 II 講3日目	10~12時	DAA工数表優れ理由
第 II 講3日目	13~16時	そもそも論復習

第 I 講 1日目 13時~17時

そもそも論基礎①

事故車修理業界と損害保険のそもそも論

- 賠償事故修理における事故車修理について
- アジャスターマニュアルと見積り技法(修理4原則と+1)
- 修理業界の現状分析
- 指数と工数
- 対応単価と工数

第 I 講 2日目10～12時

そもそも論基礎②

■対物賠償保険 賠償責任問題

■車両保険 契約問題

■法的責任の関係性

●弁護士法72条 損害保険会社は合法 修理工場は違法の可能性はある

第 I 講 2日目13~17時

そもそも論基礎③

- 損害保険会社の基本体質を知る 保険会社も利益を追求する企業である
- 保険金請求での立証責任 消費者との情報量の差は大きい
- 法律を知る事 民法709条
- 法的賠償保険も車両保険も財産的価値の損害を保険金で支払うこれが基本理念
- 消費税について

第 I 講 3日目10～12時

工数表と使用方法

■DAA独自工数表の概念

- 塗装工数表
- 鋳金工数表

■使用方法 ビデオ&説明書

第 I 講3日目 13~16時 塗装工数表と実技

- 塗装工数表のみを使用した修理見積書の作成
 - 板金見積はこれまでの指数・対応単価を使用
 - 対応単価は市場価格を参照する

- 事例での見積り・添削

第Ⅱ講 1日目13~17時 鈑金・塗装工数表概念

■鈑金塗装工数表の概念

社会的責任履行のための修理見積書の作成。

自分の売値は自分で決める。

■実車見積り 講義・見積り書の作成

参照『自分の売値は自分で決める』

第Ⅱ講2日目10～12時 板金工数実技・講義

- 実車見積りを使って钣金のみの見積もりをスクーリング
- フレーム修正修理は安全性に影響する大事な作業
 - 大型高額設備がないとできない
 - 責任の重さは価格に反映する

第Ⅱ講 2日目13～17時 工数表を使った実技指導

- 実車を使った現場でのスクーリング授業
 - 見積りの方法論を基礎から学ぶ
 - 事故車の損傷診断で最終到達地点の理論を学ぶ
- 見積りコンピュータとDAA工数表(エクセル版)コラボ方法と見積り方法
 - 現在お使いの見積りコンピュータも利用できる

第Ⅱ講 3日目10～12時 DAA工数表の優れた理由

■DAA工数表がなぜすぐれているのか

- 現場作業者がゆとりを持って作業できる公正時間
- DAA工数表はアジャスター工数なので否定できない
- 現場作業者が実作業時間として納得する

■DAA工数表は社員実労時間の軽減につながる(労働環境の改善)(生産性に寄与)

■社員の幸せ感が顧客満足度につながる

第Ⅱ講 3日目13～16時 **そもそも論復習**

- 第Ⅰ講で学んだ復習 問答講義
- これまででの疑問点 質疑応答

- そもそも論とアジャスター

第Ⅲ講1日目13～17時　　そもそも論復習再講習

- 前回の復習を終えてと結果からの質疑応答

第Ⅲ講2日目 10～12時 工数表概念とあるべき姿

- 事故車修理業としての使命を知る
- 財津塾で理念と誇りを確立し正しい行動ができる
- 正しい考え方を身に着ける
 - 自然の摂理の中で生かされてる人間として自然の法則に従って生きる
- アジャスターと共にお互いの立場を共有できること

第Ⅲ講2日目13時～17時

钣金・塗装工数表実技

- 前回の講習からの反省と気づき
 - より良い見積り方法の構築

第Ⅲ講3日目10～12時

理念を持つこと

我々は『どうあるべきなのかを深く考え抜く

我々(自分)が幸せなら、周りも幸せ
幸せの連鎖を生む

幸せの意味を考え抜く常に考え行動する
自分は不完全、学ぶところから始める
学ぶことで理念が生まれる

理念なきところに『誇り』なし

板金塗装業のあるべき姿

誇りを持つこと

われわれの仕事はだれのために何のために
を常に考える

誰の為何のために深く考え理解し行動すれば
おのずと誇りが生まれる

誇り無き所に『理念』なし

第Ⅲ講3日目 13～16時 社会の公器として共に生きる

教わるから学へ

誇りと理念を持って行動できるようになる

損保に負けない事故車修理業を通じ消費者の役に立つことで
社会的責任を履行できる企業へと成長する

相克から相生へ

これからの社会はこうなる！

これが真の社会貢献

大事なこと経営者としてどう生きるか

最終的には自身の生き方が問われる

目的意識があるか、それも正しい目的意識
経営者である前に一人の人としてどう生きるのか

生きる目的は何なのかが理解できるようになる

連絡先

658-0046

神戸市東灘区御影本町8丁目6-14
ダイドーマゾン御影3 403号

『財津塾』主宰 財津 栄一

携帯 090-9629-8361

メール

bseiichi1356@gmail.com

